

**種の概要**

房総半島・北長門海岸から南西諸島に分布。内湾の潮通しのよい礫地に隣接した砂質干潟の低潮帯から潮下帯に生息する。殻長50mm前後。殻は長楕円形でやや薄く、膨らみは弱い。後端は斜めに裁断状。殻表には前背縁から後腹縁へ斜めの彫刻があり、紫や赤の不規則な雲状斑を放射状に散らす。

**主要な選定理由**

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

**県内分布**

洲本市

**県内における生息状況及びその他特記事項**

新規追加種。淡路島中部の内湾に面した小礫混じりの粗砂泥干潟に生息しているが、生貝の確認は2個体のみで死貝がほとんどである。

**保護上の留意点**

潮通しの良い内湾において、小礫混じりの砂泥干潟の保全に努める。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋